

LIBERAL&DEMOCRATIC

自由民主

発行所
自由民主党本部
郵便番号 100-8910
東京都千代田区永田町1-11-23
電話 東京 03(3581)6211(代表)
<毎週火曜日発行>



自由民主党ホームページ URL <https://www.jimin.jp/>



羽生田俊

群馬県参議院比例区第八十二支部 支部長
参議院議員
自民党厚生労働部会長代理
羽生田眼科医病院長(前橋市)



中川俊男

日本医師会会長



須藤英仁

群馬県医師会会長
医療法人清恵会 須藤病院院長(安中市)



自見はなこ

参議院議員
参議院厚生労働委員会理事



釜薙敏

日本医師会常任理事
小泉小児科医病院長(高崎市)

羽生田たかしさんの活動フォト

※撮影にあたり一時的にマスクを外しています。



自民党組織運動本部長代理として「組織運動本部役員会」に出席



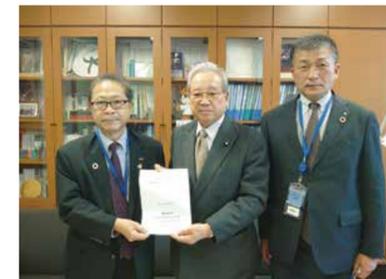
ワクチン研究所視察



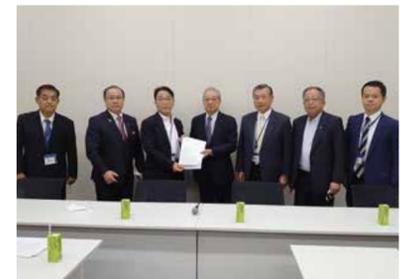
群馬県医師会新年会・敬寿会



豚コレラ対策会議



群馬県森林組合より要望



党群馬県連より要望



国道50号建設促進要望



前橋初市祭り

すべての人に
やさしい を

自見はなこ議員 日本医師連盟より推薦をいただきました。



コロナ禍において、医療現場で懸命に地域医療をお支え頂いております皆様にご報告申し上げます。日本医師連盟では、9月15日に開催した総会において自民党参議院比例区支部長の私、自見はなこの推薦が決定しましたことをご報告いたします。

わが国の社会保障を取り巻く環境は、少子高齢化、財政事情に加え、新型コロナウイルス感染症という未曾有の驚異を前に、かつてなく厳しい情勢にあります。皆様のお声を国の政策に反映させ、わが国が世界に誇る国民皆保険制度を守り、発展させていくため、羽生田たかしさんと共に取り組んで参ります。

参議院議員
自見はなこ

羽生田たかし事務所へのお問い合わせ

羽生田たかし公式サイト
<https://www.hanyuda-t.jp>

Facebook
羽生田たかし

群馬事務所
〒371-0022 群馬県前橋市千代田町2-10-13
TEL.027-289-8680 FAX.027-289-8681

Twitter公式アカウント
@hanyuda_takashi

国会事務所
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1-319
TEL.03-6550-0319 FAX.03-6551-0319

メールマガジン配信中
mail@takashi-hanyuda.com

コロナ禍でも医療機関で必要な受診を。

羽生田たかしさんの主な経歴

自由民主党群馬県参議院比例区第八十二支部支部長
社団法人前橋市医師会理事
社団法人群馬県医師会理事
社団法人日本医師会副会長
第23回参議院議員選挙全国比例区において
初当選(現在2期目)
【参議院】
厚生労働委員会委員長
財政金融委員会理事
【自由民主党】
副幹事長
組織運動本部 部長代理
厚生労働部 部長代理
医師の働き方及びタスクシフト推進プロジェクト
社会保険制度調査会幹事



今回は羽生田たかしさんが座長となり、日本医師会会長の中川俊男先生、群馬県医師会会長須藤英仁先生、日本医師会常任理事・新型コロナウイルス感染症対策分科会構成員の釜薙敏先生、参議院議員・医師(小児科)の自見はなこ議員の4名を迎えオンラインによる会議を開催しました。本号では、新型コロナウイルス感染症に対する国民の不安に寄り添う羽生田たかしさんを特集します。

テーマ

1、コロナ禍でも医療機関で必要な受診を

過度な受診控えは健康上のリスクを高めてしまう可能性がある。コロナ禍でも検診や持病の治療、お子さまの予防接種など健康管理は重要

2、医療提供体制について

かかりつけ医にの発熱外来や、医療機関における感染症対策「みんなで安心マーク」等
群馬県での医療提供体制や検査体制の状況について





須藤英仁会長

国民一人の意識を高め、感染予防対策を講じることが重要と考えています。

須藤会長

医療現場で毎日全力で患者さんの対応に当たって頂いているので、本当に心より感謝を申し上げます。

現在、群馬県医師会は、行政との連携の下、医療機関の協力を頂きながら医療提供・検査体制の強化を図っています。しかしながら、重症者に対応できる病床の数には限りがあり、このまま感染が拡大し、重症者が増え続ければ医療崩壊が起りかねません。県民住民の皆さまに、しっかりと感染予防対策をとった上で日常活動を行って頂けるよう、ご理解とご協力を再度お願い申し上げます。また、発熱時や不安な症状がある時などは一度「かかりつけ医療

機関」に「電話」で相談して頂き、発熱外来の対応時間に検査、診療可能な医療機関へ受診頂きたいと思えます。感染の可能性を疑う場合にはむやみに訪問せず、まず相談の電話をして頂きたいと思えます。

中川会長

一旦医療崩壊を起こせば、元に戻すまでにはかなりの時間と労力を要します。またその間に必要な医療を提供出来ません。

特にクラスターを起さないよう、マスクは勿論こまめに手指消毒やうがい、三密を避け、換気等の感染予防を徹底し、飛沫が飛び交う環境を作らないこと。それが大切なひとの命を守ることの取り組みの一歩と考え対策を取って頂きたいと考えています。

日本医師会も全国の地域の医師会と連携をとり、全ての医療機関

赤ちゃんからお年寄りまで、安心して医療を受けられる体制がなければ生活できません。医療崩壊は地域コミュニティの崩壊にもつながります。発熱患者とその他の患者が接触しないようにする工夫や、頻繁な消毒などの感染予防措置、そして受診控えによる経営状況の悪化など、現在、医療機関には大きな負担がかかっています。

自見議員

医療提供体制を守るため、財政措置も含む積極的な支援をしていけるよう、私も医師会の先生方と連携して頑張っています。



釜谷敏常任理事

まさに医療崩壊にならないように県民の皆さまの理解と協力は大切であります。国の分科会でも「人と人の距離」「適切なマスクの着用」「手洗い・手指消毒」「換気」など、基本的な感染予防対策や会食時の注意点などを提示しております。大切な人を守るために、節度を持った行動をお願いしたいと思えます。

また、発熱時や不安な症状がある、何かいつもと違うと感じた時は、まず「かかりつけ医」に電話でどうしたらよいかと相談してください。指定された時間の受診や適切な医療機関を紹介された場合には、指示に従ってください。県には受診・相談コールセンター(0570-082820)も設置されています。あくまで、まず電話を利用して、直接の来院は避けてください。

釜谷常任理事

長引くコロナ禍において国民の不安やストレスも大きくなっていると思います。しかしながら、大切な人の命、またご自身の命を守るためにも感染予防対策をしっかりと、医療崩壊を防ぐことが必要です。

私たち医療者も、また医師だけでなく様々な医療職種が懸命に新型コロナウイルスのみならず全ての疾患と向かい合い患者と共に闘っています。

安易な我慢や先送りは重症化に繋がる恐れがあります。必要な医療は適切に受けたいと思います。必要医療は適切に受けたいと思います。また、心配なこと、気づきがあれば、「かかりつけ医」にご相談ください。

ると感じております。

国民一人の意識を高め、感染予防対策を講じることが重要と考えています。

機関」に「電話」で相談して頂き、発熱外来の対応時間に検査、診療可能な医療機関へ受診頂きたいと思えます。

一旦医療崩壊を起こせば、元に戻すまでにはかなりの時間と労力を要します。またその間に必要な医療を提供出来ません。



自見はなこ議員

赤ちゃんの予防接種を遅らせると免疫がつかぬのが遅くなり、本来なら予防し得た重い感染症にかかるリスクがあります。小児科医は、赤ちゃんが他の病気に感染しないよう、予防接種と乳幼児健診の時間と空間を分け

コロナ禍でも医療機関で必要な受診を。

“緊急”オンライン会議



羽生田俊議員

羽生田議員

昨今、新型コロナウイルスの感染を恐れるあまり、受診控えをする方が増えています。高血圧や糖尿病などの治療を中断することによる重症化リスクの高まりが心配されています。

体調に変化を感じたときだけでなく、定期的な検診や予防接種が健康管理には有効であります。安易な我慢や先送りは重症化に繋がる恐れがあるため、必要な医療は適切に受けたいと広報や啓発活動に努めています。

中川会長

日本医師会では、医療機関が感染症防止対策に取り組んでいることを示すため、厚生労働省の協力で日本医師会が作成した感染防止対策チェック

リストに対応した医療機関に「みんなが安心マーク」を発行し、掲示して頂くようにしています。患者さんにかわりやすく、全ての医療機関に共通する重要な取り組みであります。

須藤会長

本日に重要なことだと思っています。群馬県においても医療機関や検査会場では、換気や消毒でしっかりと感染予防対策をしています。

また現在、特に小児科で顕著な受診控えが起っており、予防接種はお子さんの成長と健康管理にとって大変重要であります。また、新型コロナウイルス以外の通常の疾患も管理が必要



自身で判断で治療を中断せず必要であれば引き続き通院していただきたく思います。過度な心配や不安を抱えず、まずは「かかりつけ」のお医者さんに相談してください。

自見議員

重病患者が最低2週間入院が必要となります。その対応する医療従事者も通常より多い人数が必要となり、結果コロナ以外の疾患対応が後回しになったり、入院治療を受けるべき方を収容できない医療崩壊と



中川俊男会長

個別接種するなど細心の注意を払っています。適切な接種勧奨時期に安心して受診してほしいと思います。

また、さまざまなコミュニティ活動が制限され、家庭が孤立しがちな状況であるからこそ、お父さんお母さんたちも子育ての悩みを抱え込まず、かかりつけの小児科医にご相談ください。

羽生田議員

群馬県医師会においても須藤会長が「こんな時こそ安心安全な医療提供体制を」とホームページ上にメッセージを出されていますが、感染者数が増えている昨今、検査体制や医療提供体制には大変ご苦労されていることと思います。

医療現場で懸命に治療に当たっている医療職皆さまの様々な努力に心より感謝を申し上げます。また、新型コロナウイルスだけでなく、多くの疾患に対応している地域を支える医療機関があるからこそ、住民の安心が守られてい

群馬県でも新規感染者の増加や、重症化しやすい高齢者への感染が見られています。また感染経路不明の数も増えています。

釜谷常任理事

群馬県でも新規感染者の増加や、重症化しやすい高齢者への感染が見られています。また感染経路不明の数も増えています。

羽生田議員

群馬県医師会においても須藤会長が「こんな時こそ安心安全な医療提供体制を」とホームページ上にメッセージを出されていますが、感染者数が増えている昨今、検査体制や医療提供体制には大変ご苦労されていることと思います。